

【別紙1】CMS機能要件一覧

No.	機能名	内容
■HP運用・管理		
1	インストールの環境	自分が所有しているサーバ、又は、HPを制御・管理できる共有ホスティングサーバ等にインストール可能であること。
2	UTC 対応	投稿日時など、時刻に関する項目全てを世界共通の基準である GMT 値としてデータベースに格納できるよう、協定世界時 (UTC)からの時差を設定可能であること。
3	ユーザー管理	ユーザー権限を設定し、各機能に対するユーザーアクセス権を制御することができる。登録ユーザーに権限を割り当てることにより、HPコンテンツを作成するか編集するかなど、各ユーザーがHP上で行なえることを制限可能であること。
4	ユーザープロフィール	登録ユーザー毎に、(希望に応じて)メールアドレス・インスタントメッセージ名・経歴といった詳細なプロフィールを登録可能であること。
■デザインのカスタマイズ		
5	テンプレート駆動の Webデザイン	Webページを動的に生成するためにテンプレートを使用。テンプレートを編集することにより、コンテンツの表示内容を制御可能であること。
6	テンプレートとテーマエディタ	テンプレートや他の関連ファイルを編集できるファイルエディタが付随しており、ファイル編集にあたっては、ブラウザ上で編集可能であること。
7	プラグイン	プラグインにより機能の拡張が可能であること。
■コンテンツの作成		
8	ファイル名	URL(ファイル名)は自動的に付与され、必要に応じて任意の指定ができる。同じファイル名が存在する場合には、エラーメッセージを表示し登録できないようにすることが可能であること。
9	投稿	本文のテキスト入力は、Microsoft Wordを操作する感覚で行うことが可能(ツールバーがワードと同じようなボタンで構成されている)。また、コピーしたWordやExcelのデータを本文入力欄に貼り付け、編集できること。
10	事前投稿 (予約投稿・未末日投稿)	記事更新について、任意に日時を設定して自動的にHPに反映可能であること。
11	掲載期限	掲載期限を設定することが可能であること。
12	ファイル・画像のアップロード	画像やファイルをアップロードして、記事に表示したリリンクを張ることが可能であること。 アップロードする際、自動的にサムネイルを生成することもできる。
13	カテゴリー	カテゴリー、サブカテゴリー、サブサブカテゴリー…などに投稿を分類可能であること。
14	草稿の保存	未完成の記事を保存し、後で修正を加えてから完成したときに公開可能であること。
15	プレビュー	「公開」ボタンを押す前に、サイトに表示したときにどのように見えるか、「プレビュー」ボタンで確認可能であること。
16	アクセス制御機能	アクセス制御機能(ID及びパスワードによるユーザ認証機能)を有したページが作成できること。
17	添付ファイル	画像データやPDFファイル、Word、Excel、など、オフィス製品ファイルをブラウザ上から容易にアップロード・管理できること。
18	画像リサイズ	登録時には指定した適正サイズに自動的にリサイズできるほか、画像の大きさや配置位置が指定・変更できること。
19	リンク設定	サイト内ページのリンク設定について、ツリー構造やページ検索等で簡単にリンク設定を行うことができること。
20	ページ内リンク	ページ内リンク(アンカーリンク)の設定が出来るほか、PDF等の各種ファイルへリンクできること。
21	アクセシビリティチェック	作成した記事のアクセシビリティ的に問題がある箇所を視覚的に表現し、自動で修正することが可能であること。
■その他		
22	モデレーション (即時表示の抑制と承認)	設定に該当するコメントが投稿されると、サイトへの表示を一旦保留し、承認したものをサイトに表示することが可能であること。
23	通知	新しいコメントや承認待ちコメントがある度に、メールで最新情報をお知らせ可能であること。
24	カテゴリー化	HPロール内のリンクを分類・整理が可能であること。
25	リンクリストのインポート	OPML 形式のリンクリストファイルデータをインポート可能であること。
26	リンクリストのエクスポート	OPML 形式のファイルにリンクリストファイルデータをエクスポート可能であること。
27	パーマリンク URL	HP上の全てのページの URL 体系を標準的で乱雑さのない形式にすることが可能であること。